

ANNUAL REPORT 2018

2018年3月期

Develop a New Era by People and Technology

人と技術で次代を拓く

MEITEC

Engineering Firm at The Core

Engineering Firm

私たちは「人と技術」でもものづくりの核心を

エンジニアに豊かな「エンジニア人生」を提供し、

お客さまにとって欠かせない真の「ベストパートナー」を実現していく存在でありたい。

今まで「人と技術で次代を拓いてきた」私たちだからこそ、今、

そしてこれからもエンジニア採用市場・労働市場と設計・開発業務市場の

双方において、“核心”を担える集団であり続けます。

at The Core

担う、エンジニア集団です

「Engineering Firm at The Core」の意図

Engineering Firm

- メイテックグループの社員一人ひとりが、「自立と支え合い」の精神でお互いを高め合い、成長し続けるエンジニアのプロフェッショナル集団であること

The Core

- 製造業の技術革新において、「大事な、欠かせない」価値を創り出す存在であること
- 世の中のエンジニアが職業を軸に働き続ける上で、「大事な、欠かせない」働き方を提供できる存在であること

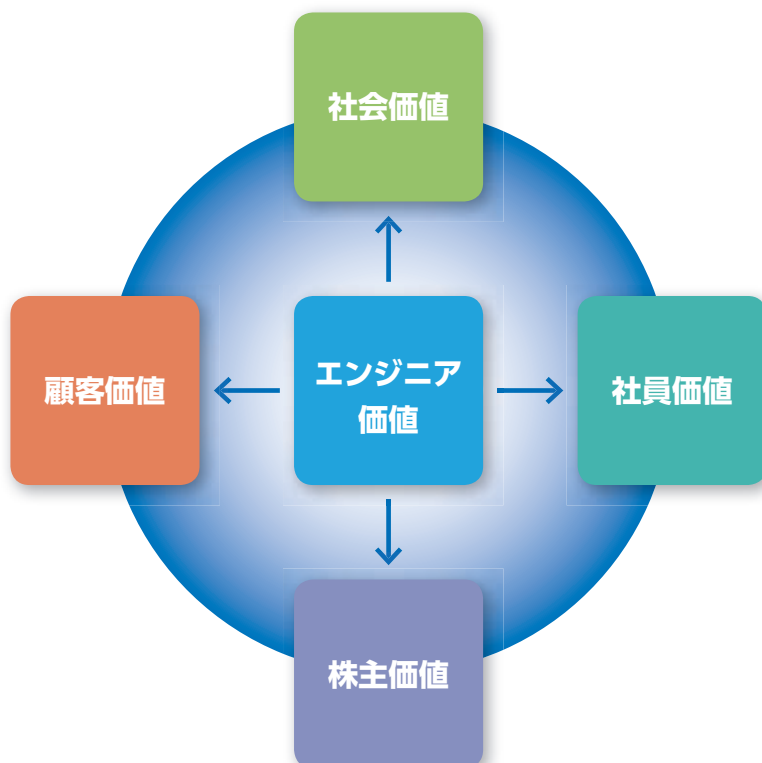
メイテックグループの経営理念

共生と繁栄

《コーポレートスローガン：人と技術で次代を拓く》

メイテックグループの「目指すべき姿」

私たちメイテックグループは、全社員がつながり合い、エンジニア価値を起点として、5つの価値を持続的に向上させます。



① エンジニア価値

豊かな「エンジニア人生」を目指すすべてのエンジニアに対して、最適な「機会と場」を提供し続けます

② 社員価値

「自立と支え合い」に共感し、プロフェッショナルとして成長し続ける社員に対して、最適な「機会と場」を提供し続けます

③ 顧客価値

すべてのお客さまから信頼されるベストパートナーを目指し、最適な「人と技術」のサービスを提供し続けます

④ 株主価値

持続的な価値向上に基づく「健全な利益」を創出し、中長期的に株主還元を最大化します

⑤ 社会価値

生涯プロエンジニアという働き方の確立を通じて、日本に「プロフェッショナルな労働市場」を創り出す先駆者になります

CONTENTS

2	経営理念・経営方針	22	連結貸借対照表
4	財務ハイライト	24	連結損益計算書
6	トップメッセージ	25	連結包括利益計算書
14	コーポレート・ガバナンス	26	連結株主資本等変動計算書
16	役員一覧	27	連結キャッシュ・フロー計算書
18	5年間の主要連結財務データ	28	会社概要／株式情報
19	経営者による経営成績および 財政状態に関する分析		

決算に関する詳細情報

2018年3月期決算の詳細については、有価証券報告書をご覧ください。

<http://www.meitec.co.jp/ir/document/securities.html>

業績予想及び将来の予測に関する注意事項

当社グループが公表する業績予想、見通し、計画、戦略等のうち、歴史的事実以外のものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは公表日現在で入手可能な情報による当社の判断及び仮定に基づいています。

実際の業績や成果等は、さまざまな要素により、これら見通しと大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

ウェブサイト情報

メイテックは、主要経営指標や月別稼働率、決算報告書、四半期報告書及び業績修正のお知らせ等、最新の情報をウェブサイトにて開示しています。

主な内容

- ・経営成績(メイテック及びメイテックフィルダーズの月別稼働率等)
- ・株価
- ・財務成績及び決算発表
- ・アニュアルレポート

メイテックでは、新しい情報が当社ウェブサイト追加された際、メンバーリストの登録者にe-mailでお知らせするサービスを提供しています。

詳細は以下のURLをご参照ください。

<http://www.meitec.co.jp/ir/>

財務ハイライト

株式会社メイテックおよび連結子会社
3月31日に終了した各事業年度

	百万円		
	2016	2017	2018
売上高	¥ 87,888	¥ 89,979	¥ 93,618
営業利益	10,874	11,142	11,458
経常利益	10,845	11,145	11,465
親会社株主に帰属する当期純利益	8,083	7,937	8,132

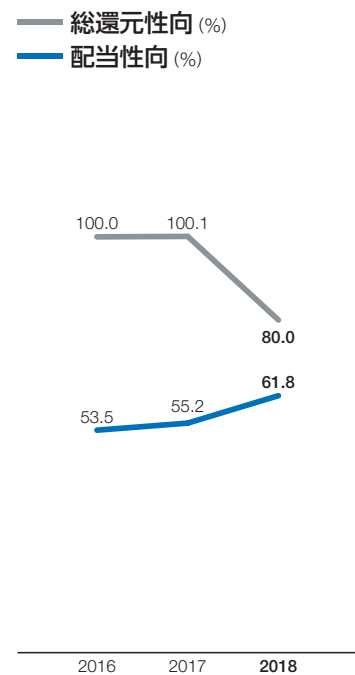
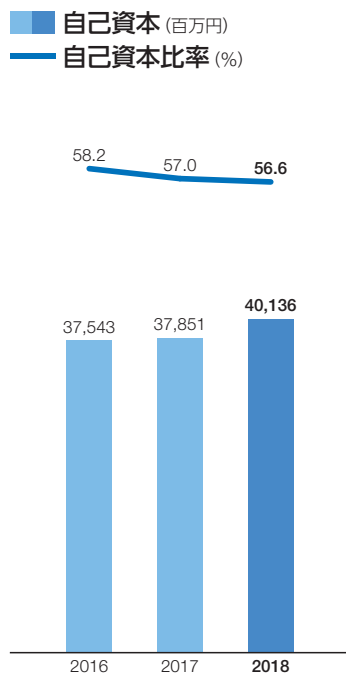
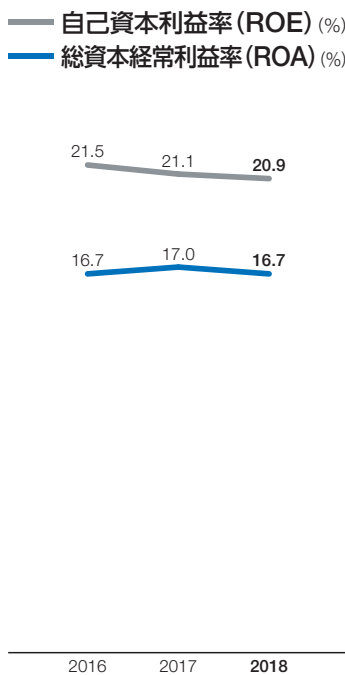
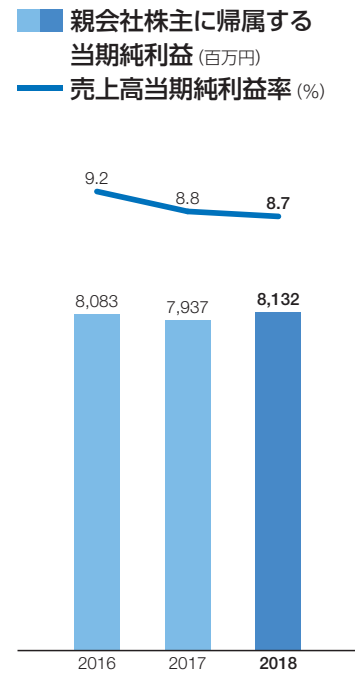
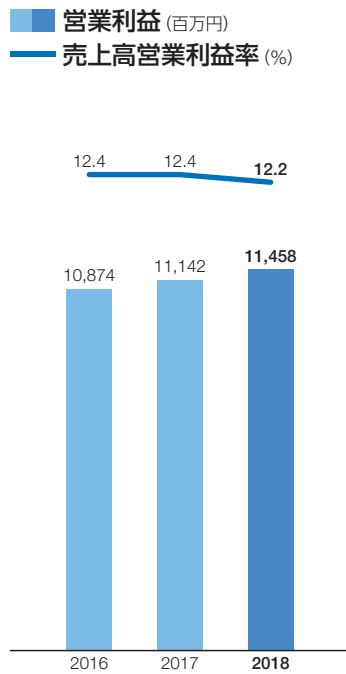
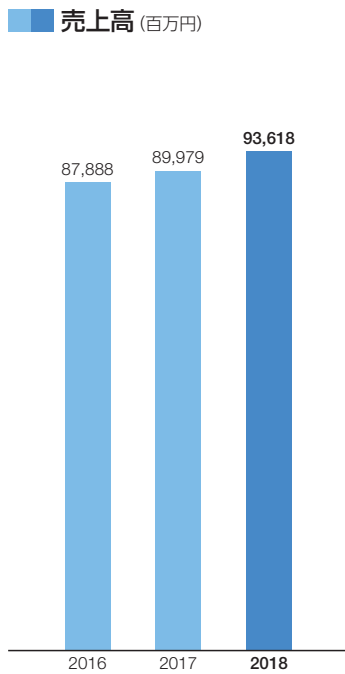
3月31日現在

総資産	64,468	66,377	70,934
純資産	37,605	37,854	40,139
自己資本	37,543	37,851	40,136

1株当たり	円		
当期純利益(注)	¥ 269.24	¥ 274.32	¥ 286.64
配当金	144.00	151.50	177.00
純資産額	1,278.59	1,330.57	1,424.01

(注) 1株当たり当期純利益は、期中発行済株式数に基づいて算出しております。

経営指標	%		
売上高営業利益率	12.4	12.4	12.2
売上高当期純利益率	9.2	8.8	8.7
総資本経常利益率 (ROA)	16.7	17.0	16.7
自己資本利益率 (ROE)	21.5	21.1	20.9
自己資本比率	58.2	57.0	56.6
配当性向	53.5	55.2	61.8
総還元性向	100.0	100.1	80.0



トップメッセージ

一社でも多くのお客さまに、
一人でも多くのエンジニアに、
メイテックグループを活用いただき、
感動や喜びを実感できる
「機会と場」の拡大を目指します。

メイテックグループは、人と技術で労働市場の核心を担うプロのエンジニア集団として、オンリーワンの企業グループを目指します。中期経営計画「Next Stage 1」の達成に向けた取り組みを強化し、持続的な成長を図っていきます。

代表取締役社長
メイテックグループCEO

國分 秀世



メイテックグループ連結の売上高は過去最高を記録

メイテックグループ連結の業績は、主要なお客さまである大手製造業の技術開発投資が継続されたため、売上高の9割を占めるエンジニアリングソリューション事業が業績をけん引し、売上高は前年同期比4.0%増収の936億18百万円、営業利益は2.8%増益の114億58百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比2.5%増益の81億32百万円となりました。

メイテック単体の業績は、稼働人員数の増加により、

売上高は前年同期比3.1%増収の722億52百万円、営業利益は1.4%増益の93億42百万円、当期純利益は5.5%増益の74億61百万円となりました。

メイテックフィルダーズの業績は、メイテック同様、稼働人員数の増加により、売上高は前年同期比14.2%増収の169億81百万円、営業利益は8.2%増益の14億56百万円となりました。当期純利益は、2017年3月期に発生した税負担の軽減が2018年3月期は発生しなかったため、1.4%減益の10億31百万円となりました。

厳しい採用環境が継続する中、採用基準を保持しながら採用活動を展開。 過去最高となるエンジニア社員数9,619名で新年度をスタート



メイテックグループの成長の原動力はエンジニア社員数の増員です。質の高い人材確保にこだわり、採用基準の保持を前提に採用活動を行った結果、メイテックグループのエンジニア社員数は、2018年3月末時点で前年3月末比408名(4.7%)増加の9,065名となりました。また、4月1日に新卒社員を迎え、過去最高の9,619名となりました。メイテック単体のエンジニア社員数は、3月末時点で前年3月末比94名(1.4%)増加の6,755名、4月1日に新卒社員357名を迎え、過去最高の7,102名となりました。メイテックフィルダーズのエンジニア社員数は、3月末時点で前年3月末比314名(15.7%)増加の2,310名、4月1日に新卒社員203名を迎え、過去最高の2,517名となりました。

採用の拡大と退職率の低減に注力

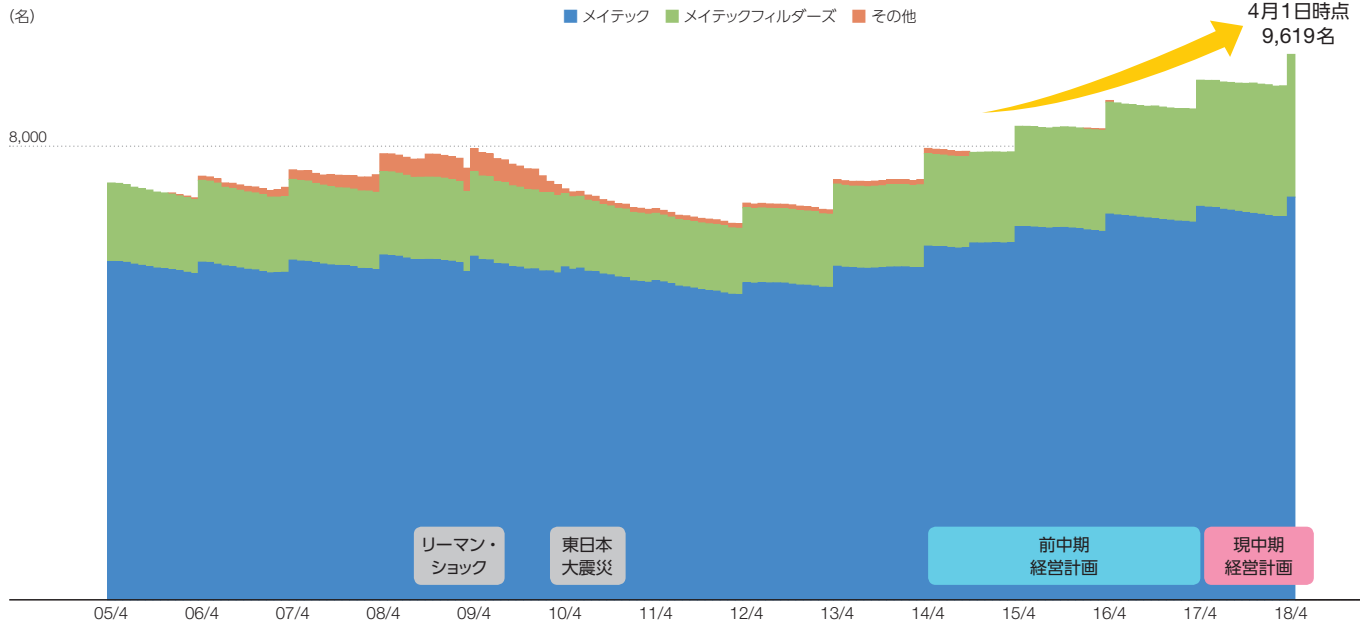
採用市場においては、2018年3月期も、エンジニアの求人ニーズに衰えは見られず、依然として厳しい状況が続きました。

メイテックの中途採用については、採用基準を保持しながら採用活動を継続しましたが、大手メーカーとの競合もあり、期初予想比12名減少の138名となりました。一方、メイテックフィルダーズは、「幅広い業務で拡大成長」を掲げた採用活動の結果、期初予想比89名増加の304名となりました。

新卒採用については、企業求人数・募集人員の増加といった極めて厳しい環境の中、採用基準を保持して活動を展開した結果、メイテックは期初予想比3名減少の357名、メイテックフィルダーズは期初予想比27名減少の203名となりました。

これらを背景に、メイテックの採用率は6.5%と前年同期比で伸び率は若干低下、退職率は5.2%と若干増加したものの、低い水準を維持しました。メイテックフィルダーズの採用率は23.2%と大きく増加、退職率は8.8%となり、増員に寄与しました。

エンジニア社員数 グループ連結



「稼働率と対価」を維持・向上しながら、「エンジニア社員数の増員」が成長の鍵

メイテック、メイテックフィルダーズの稼働率は、新卒、既存エンジニア社員の配属が順調に進められたため、安定的に推移しました。

メイテックの対価はリーディングカンパニーとして、採用基準を保持した採用活動にこだわり、高い品質を維持することで、業界平均を大きく超える5,100円の水準を維持しています。メイテックフィルダーズの対価も、業界平均レベルの3,600円を維持しています。今後もメイテックグループは、エンジニア一人ひとりが高いアウトプットをお客さまに提供することで、需要と供給の関係に流されることなく適正対価を獲得できるように努めていきます。

受注獲得については、製造業のお客さまが長期視点で技術開発投資を進めていることを背景に、新規受注件数は月間350件を超える水準で推移しており、今後も堅調に推移していくと想定しています。また稼働時間については、時間外労働の減少を背景に減少傾向にありましたが、ここ最近の動向では、底を打ったように感じられませんが、稼働時間は、お客さま先の業務指示の結果であり、メイテックグループでコントロールができませんが、稼働時間0.1時間の変動で売上高は約1%変動することから、引き続き注視していきます。

今後もメイテックグループは、「エンジニア社員数の増員」と、受注獲得と早期配属による「高い稼働率の維持」を両立することで「稼働人員数の伸長」を図り、売り上げ拡大につなげていきます。



《中期経営計画「Next Stage 1」の進捗》

人と技術でモノづくりの核心を担うエンジニア集団として、さらなる差別化を図り、持続的成長を実現します。

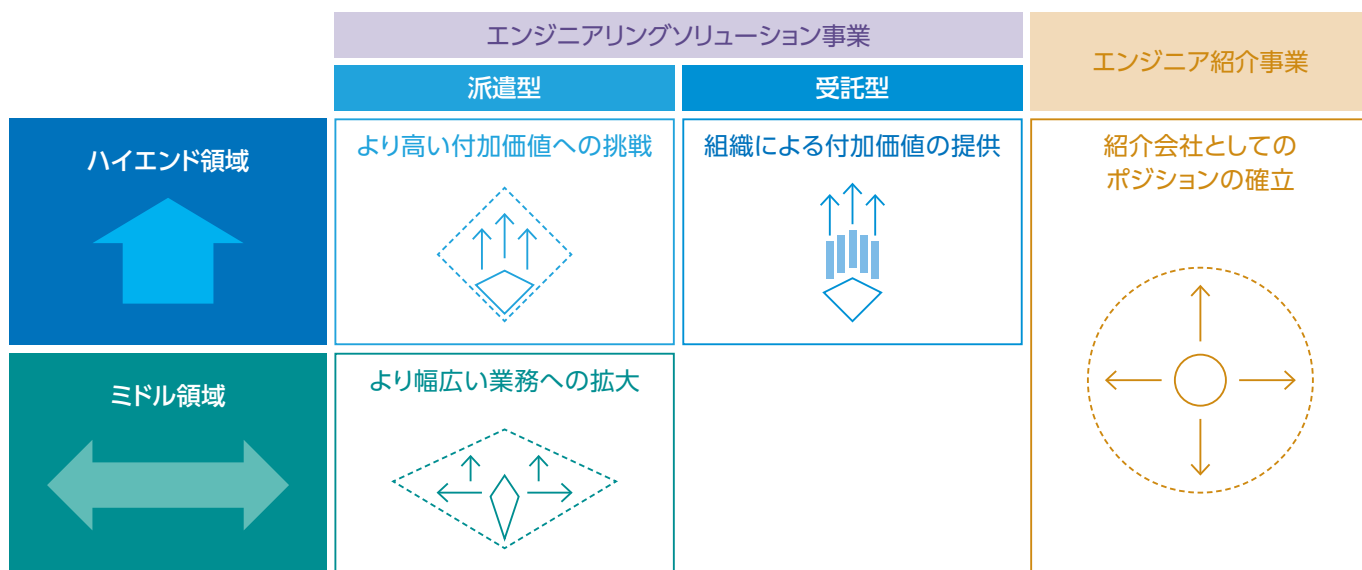
業績予想・中期計画の進捗

		2017年度		2018年度	2019年度
		期初予想	実績	予想	目標
グループ連結	売上高	930億円	936億円	970億円	1,000億円
	営業利益	109億円	115億円	116億円	130億円
	営業利益率	11.7%	12.2%	12.0%	13.0%
	親会社株主に帰属する当期純利益	74億円	81億円	78億円	90億円
	ROE	18.2%	20.9%	19.2%	20.0%
メイテック	売上高	720億円	723億円	734億円	780億円
	営業利益	90億円	93億円	93億円	100億円
	営業利益率	12.5%	12.9%	12.7%	13.0%
メイテック フィルダース	売上高	167億円	170億円	188億円	200億円
	営業利益	14億円	15億円	16億円	17億円
	営業利益率	8.4%	8.6%	8.5%	9.0%

中期経営計画「Next Stage 1」の1年目となる2018年3月期は、概ね予想通りの業績となりました。2年目となる2019年3月期の親会社株主に帰属する当期純利益は前期実績を下回る予想ですが、最終年度の2020

年3月期は、メイテックグループ連結で過去最高水準の売上高1,000億円、営業利益は130億円、営業利益率は13%、親会社株主に帰属する当期純利益は90億円、ROEは20%以上を目指します。

積極的成長に向けた競争力の強化



2019年3月期は、持続的成長に向けてエンジニア採用数の増加や営業職等の増強を計画。 採用経費の他、システム費用の増加で販管費は大幅に増加する見込み

2019年3月期のメイテックグループ連結の業績予想は、売上高は前年同期比3.6%増収の過去最高の970億円、営業利益は前年同期比1.2%増益の116億円、親会社株主に帰属する当期純利益は、販管費の増加や税負担の影響を見込み、前年同期比4.1%減益の78億円としました。

メイテック単体の業績予想は、売上高は前年同期比1.6%増収の734億円、営業利益は前年同期比0.5%減益の93億円としました。営業利益の減益見通しの理由は、エンジニア採用目標数を増加したことに加え、営業

職強化等による、採用経費の増加やシステム費用の増加といった販管費の増加等を見込んでいるためです。稼働率は採用数増加を見込んでいることから、前年同期比1.3%の減少を見込んでいます。これらを背景として、当期純利益は前年同期比6.2%減益の70億円としました。

メイテックフィルダーズの業績予想は、売上高は前年同期比10.7%増収の188億円、営業利益は前年同期比9.8%増益の16億円としました。メイテック同様、販管費の増加等を見込んでいることから、当期純利益は前年同期比3.1%減益の10億円としました。

2019年3月期の採用目標

採用環境は、エンジニア不足により企業の求人意欲がますます上昇していることから、エンジニア採用は激化しています。非常に厳しい環境が継続すると予想される中、メイテックグループは中長期的な成長に向けて、継続して採用基準を下げず、引き続き質の高い人材の獲得に取り組んでいきます。

新卒採用については、メイテックグループ全体で前年同期比80名増加となる640名を採用目標数としています。中途採用については、前年同期比で、メイテックは22名増加の160名、メイテックフィルダーズは24名減

少の280名を採用目標数としています。メイテックフィルダーズの採用目標数が前年同期比で減少していますが、これは、厳しい採用環境であっても、従来と変わらない採用基準を保持しながら、円滑な配属を前提とした採用活動を行うことを重視しているためです。応募者志向を大切に活動を展開することで応募者集客力の強化を図り、高い目標を達成していきます。

中期経営計画3ヶ年においては、総還元性向80%

総還元性向100%以内、配当性向50%以上とする「利益配分に関する基本方針」に変更はございませんが、中期経営計画の3ヶ年においては、「積極的成長に基づく競争力の強化」を掲げリスクを拡大していくため、総還元性向80%程度とし、その内訳は配当性向60%、自己株式取得20%とする計画です。

この計画に則して、2018年3月期の期末配当は、親会社株主に帰属する当期純利益が業績予想を上回ったため、公表予想の1株当たり82円から20円50銭引き上げ、102円50銭としました。なお、中間配当金74円50銭と合わせて年間配当金は177円です。

2019年3月期は、親会社株主に帰属する当期純利益の予想額を78億円として、普通配当は年間総額約48億円で1株当たり169円、自己株式取得は15億円を予想としています。

今後も持続的に成長し続けられる企業グループであり続けるため、「Engineering Firm at The Core」、「人と技術」で、「ものづくりの核心を担う」エンジニア集団”として、ハイエンド領域を中心に、継続的に市場価値を創造できるオンリーワンの企業グループを目指してまいります。引き続き、みなさまのご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い致します。



コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社グループは、経営理念に立脚した目指すべき姿に明記した5つの価値の持続的な向上を図るため、不断の努力により、当社グループに相応しい経営の監督と業務執行のバランスを追求すると共に、社会倫理に反する事なく健全・透明・公正で、かつ迅速・果敢な意思決定を行う体制の整備等、コーポレートガバナンスの充実に取り組みます。また、監査役制度を基礎として、独立性を有する社外取締役・社外監査役の選任、社外取締役を委員長とする取締役会の諮問機関の設置等による監督機能を強化すると共

に、執行役員制度の採用等による迅速かつ適正な意思決定を図り、実効性のあるコーポレートガバナンス体制の構築に努めます。

なお、当社グループは、当社グループにとって相応しい実効的な「コーポレートガバナンス：透明・公正かつ迅速・果敢な意思決定を行うための仕組み」の実現を目的として、「メイテックグループ：コーポレートガバナンスに関する基本方針」を制定し、当社ウェブサイトに掲載しています。

「メイテックグループ：コーポレートガバナンスに関する基本方針」

日本語：<http://www.meitec.co.jp/company/principal/governance.html>

英語：<http://www.meitec.co.jp/e/company/principal/governance.html>

会社の機関の基本説明

1. 取締役・取締役会

当社の取締役会は取締役8名（うち社外取締役2名）で構成されています。原則として月1回開催し、当社グループの重要な業務執行の決定、取締役の職務執行の監督を行っており、社外取締役及び社外監査役の客観的、中立的な視点を通じて、適正な経営の意思決定及び監督の強化を図っています。また、当社は執行役員制度を採用し、COO（最高業務執行責任者）1名及び執行役員12名（うち男性12名）を任用しており、取締役会より授けられた内容について、迅速かつ適正な意思決定を図っています。

2. 監査役・監査役会

当社の監査役会は、社外監査役4名（うち常勤社外監査役1名）で構成されています。原則として月1回開催し、監査役会監査計画の決定、各監査役の監査状況の報告、助言・勧告すべき事項の協議等を行っています。また、各監査役は、監査役会が定めた監査役監査規程、監査計画等に従い、取締役会への出席や業務及び財産の状況の調査等を通じ、取締役の職務執行の監査を行っています。

3. コーポレート・ガバナンス委員会

独立性、客観性を高めるために社外取締役を委員長として取締役全員で構成され、取締役会の監督機能を強化し、「取締役会の実効性評価」などに係る説明責任を強化するため、原則、半期に1回定期で（年2回）開催し、下記事項を協議し、必要に応じて協議結果等を取締役会宛に具申及び勧告を行っています。なお、監査役はオブザーブ参加できることとなっています。

- 取締役会の実効性に関する分析・評価
- コーポレート・ガバナンスに関する基本事項
- 社会的責任に関する基本事項
- メイテックグループ・ヘルプライン制度の運営・管理等に関する事項

4. 役員人事諮問委員会

独立性、客観性を高めるために社外取締役を委員長として代表取締役社長と社外取締役で構成され、取締役会の監督機能を強化し、「役員（取締役・監査役）の評価・候補指名・報酬」に係る説明責任を強化するため、年1回以上開催しており、本委員会の内部には、CEO候補者選考協議会（従前のCEO指名委員会を発展的に統合）を設置しています。なお、監査役はオブザーブ参加できることとなっています。

取締役・監査役

	人数	うち社外	うち独立役員	定款上の員数
取締役	8	2	2	22
監査役	4	4	4	4
合計	12	6	6	26

買収防衛策

敵対的買収防衛策である、いわゆるポイズンピル（毒薬条項）は導入していません。

当社グループは、「共生と繁栄」の経営理念に立脚し、エンジニア価値を起点に、5つの価値を最大化していくことで、ひいてはそれが買収防衛につながると考えています。

役員報酬

当社は取締役会において「取締役及び監査役の報酬等の額の算定方法・決定に関する方針」を定めています。報酬の決定方法、考え方、具体的な報酬額等につきましては、当社ウェブサイトでご確認ください。

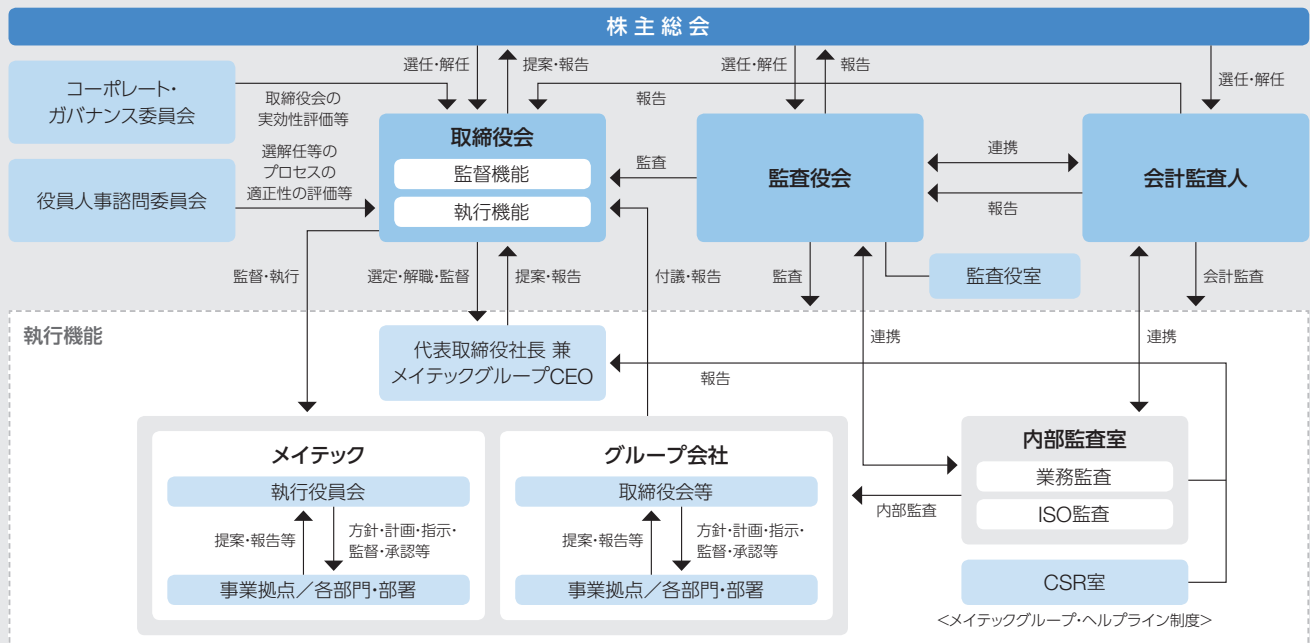
「メイテックグループ：コーポレートガバナンスに関する基本方針」

4.10. 役員報酬【原則3-1 (iii)、4-2】

日本語：<http://www.meitec.co.jp/company/principal/governance.html>

英語：<http://www.meitec.co.jp/e/company/principal/governance.html>

コーポレート・ガバナンス体制図



役員一覧 (2018年6月21日現在)

取締役



國分 秀世

代表取締役社長
メイテックグループCEO
メイテックCEO 兼 COO
社長室・内部監査室・CSR室担当



米田 洋

取締役執行役員
マーケット開発推進室・営業管理部管掌、広報部担当
(株)メイテックフィルダーズ・(株)メイテックキャスト・
(株)メイテックネクスト 担当



上村 正人

取締役執行役員
情報システム部管掌、
業務サポート部・経理部・経営管理部担当



小笠原 昭喜

取締役執行役員
エンジニアリングソリューション事業部門(ハイエンド領域)統括、
(株)メイテックEX 担当



六郷 裕之

取締役執行役員
キャリアサポート部門・グループ採用部門統括、
明達科(中国) 担当



伊藤 圭介

取締役執行役員
人事部担当
(株)メイテックビジネスサービス担当

取締役



清水 三七雄
社外取締役〈独立役員〉



岸 博幸
社外取締役〈独立役員〉

監査役



植松 正年
常勤社外監査役〈独立役員〉



齋藤 雅俊
非常勤社外監査役〈独立役員〉



渡部 博
非常勤社外監査役〈独立役員〉



深井 慎
非常勤社外監査役〈独立役員〉

執行役員

中川 弘市

執行役員
受託型エンジニアリングソリューション事業担当

矢部 哲也

執行役員
グループ採用部門担当

松井 義和

執行役員
東日本エリア・神奈川・静岡エリア担当
(東日本エリア統括兼神奈川・静岡エリア統括)

渡辺 真司

執行役員
キャリアサポート部門担当

二村 要

執行役員
中日本エリア・西日本エリア担当
(中日本エリア統括兼西日本エリア統括)

花木 紀好

執行役員
マーケット開発推進室・営業管理部担当

田熊 剛

執行役員
情報システム部担当

5年間の主要連結財務データ

株式会社メイテックおよび連結子会社
3月31日に終了した各事業年度

(単位：千円)

事業年度	第41期 2014	第42期 2015	第43期 2016	第44期 2017	第45期 2018
売上高	¥74,906,020	¥82,136,046	¥87,888,926	¥89,979,069	¥93,618,603
売上原価	55,370,774	60,481,056	64,661,865	66,417,317	69,250,512
売上総利益	19,535,245	21,654,989	23,227,060	23,561,751	24,368,090
販売費及び一般管理費	12,556,019	12,114,265	12,352,273	12,418,942	12,910,049
営業利益	6,979,226	9,540,724	10,874,786	11,142,808	11,458,040
親会社株主に帰属する当期純利益	3,973,792	3,659,870	8,083,761	7,937,496	8,132,008
事業年度末					
総資産額	¥61,445,775	¥65,098,321	¥64,468,247	¥66,377,219	¥70,934,269
流動資産合計	44,998,707	51,639,617	53,104,848	54,742,698	59,325,427
有形固定資産合計	10,555,438	7,207,847	5,721,215	5,552,805	5,399,385
負債合計	25,257,206	27,532,663	26,862,822	28,523,099	30,794,726
純資産額	36,188,569	37,565,657	37,605,424	37,854,120	40,139,543
1株当たり情報(円)					
1株当たり当期純利益金額	¥128.30	¥120.11	¥269.24	¥274.32	¥286.64
配当金	72.00	111.00	144.00	151.50	177.00
1株当たり純資産額	1,182.84	1,238.77	1,278.59	1,330.57	1,424.01
経営指標					
売上高総利益率	26.08%	26.36%	26.43%	26.19%	26.03%
売上高営業利益率	9.32	11.62	12.37	12.38	12.24
売上高当期純利益率	5.31	4.46	9.20	8.82	8.69
自己資本利益率	10.66	9.93	21.53	21.06	20.85
流動比率	357.43	326.89	389.04	373.35	366.73
自己資本比率	58.82	57.63	58.23	57.02	56.58
配当性向	56.1	92.4	53.5	55.2	61.8
株価収益率(倍)	22.83	33.50	14.61	16.48	20.55
その他の情報					
発行済み株式総数(株)	32,500,000	32,200,000	31,300,000	30,000,000	30,000,000
株価(円)	2,930	4,025	3,935	4,520	5,890
株主数(名)	5,586	5,176	5,343	4,698	4,214
従業員数(単体)(名)	6,341	6,786	6,972	7,132	7,219
従業員数(連結)(名)	8,270	8,725	9,105	9,365	9,840

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 従業員数は、就業人員数を表示しております。

3 2014年、2015年、2016年、2017年及び2018年3月31日に終了した各事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

経営者による経営成績および財政状態に関する分析

経営環境の概要

当連結会計年度(2017年4月1日～2018年3月31日)においては、当社の主要顧客である大手製造業各社で、景況に左右されることなく、次代を見据えた技術開発投資を持続される企業が多く見られました。かかる状況下、採用に尽力し、エンジニア社員の増員を図ると共に、堅調な受注環境の下、客先業務の配属を進めた結果、稼働人員数は順調に増加しました。

連結売上高

前期に実施した子会社の売却により約10億円の減収影響があったものの、前年同期比36億39百万円(4.0%)増収の936億18百万円となりました。

連結売上原価

エンジニア社員の増員による労務費増加等を主因に前年同期比28億33百万円(4.3%)増加の692億50百万円となりました。

連結販売費及び一般管理費

前年同期比4億91百万円(4.0%)増加の129億10百万円となりました。

連結営業利益

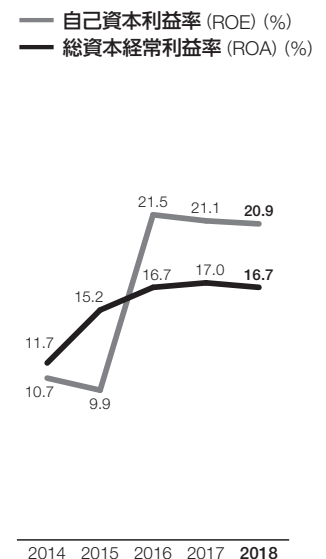
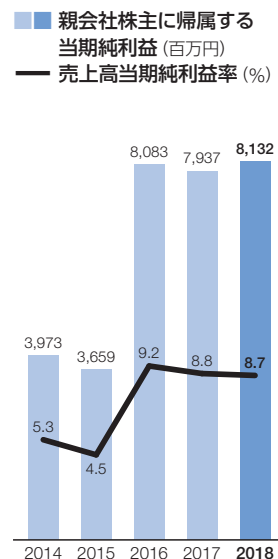
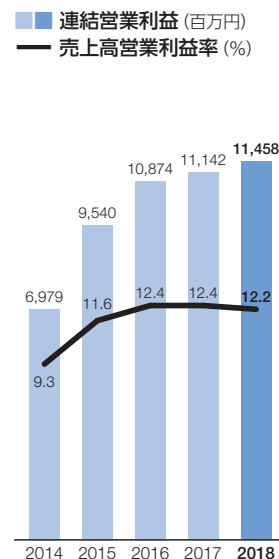
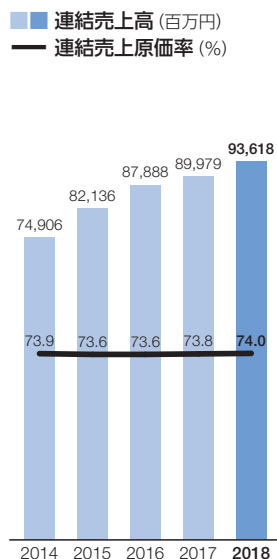
前年同期比3億15百万円(2.8%)増益の114億58百万円となりました。

連結経常利益

前年同期比3億20百万円(2.9%)増益の114億65百万円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益

前年同期比1億94百万円(2.5%)増益の81億32百万円となりました。



経営者による経営成績および財政状態に関する分析

事業セグメント*別業績の概要

● エンジニアリングソリューション事業

連結売上高の9割超を占めるエンジニアリングソリューション事業、特に中核事業のエンジニア派遣事業においては、稼働人員数の増加を主因に、売上高は前年同期比45億37百万円(5.2%)増収の92億56百万円、営業利益は、前年同期比2億51百万円(2.4%)増益の109億12百万円となりました。

メイテック単体の稼働率(全体)は97.8%(前年同期96.7%)となり、前年同期比で増加しました。なお、稼働時間については大手企業のワークライフバランスの取り組み等により時間外労働が減少し、8.70h/day(前年同期8.78h/day)と前年同期比で低下しました。

● エンジニア紹介事業

エンジニア紹介事業は、エンジニアに特化した職業紹介事業を行っています。

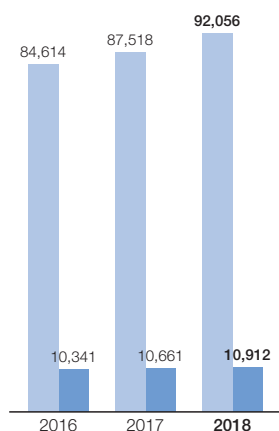
エンジニア紹介事業の売上高は、前年同期比20百万円(1.2%)増収の16億62百万円、営業利益は、前年同期比16百万円(3.1%)増益の5億45百万円となりました。

株式会社メイテックネクストは紹介決定数の増加により、増収増益となりました。

※2017年4月1日より、従来の「派遣事業」の名称を「エンジニアリングソリューション事業」に、「紹介事業」の名称を「エンジニア紹介事業」に変更しています。

エンジニアリングソリューション事業(百万円)

■ 売上高 ■ 営業利益



次期の見通し

● 2019年3月期の連結業績予想

(百万円未満切捨て)

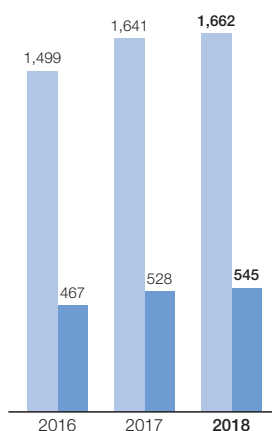
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
第2四半期累計期間の予想	47,600	5,500	5,500	3,600
前年同期比増減額	+1,732	+57	+52	+73
2019年3月期の通期予想	97,000	11,600	11,600	7,800
前年同期比増減額	+3,381	+141	+134	△332
第2四半期累計期間の実績	45,867	5,442	5,447	3,526
2018年3月期の通期実績	93,618	11,458	11,465	8,132

堅調な受注環境の持続を前提に、積極採用によるエンジニア社員の増員などを見込み、2019年3月期の連結業績予想を公表しています。

なお、通期の連結業績予想は、売上高は970億円(当連結会計年度比3.6%増)、連結営業利益は116億円(同1.2%増)、連結経常利益は116億円(同1.2%増)としました。親会社株主に帰属する当期純利益は78億円(同4.1%減)を予想します。

エンジニア紹介事業(百万円)

■ 売上高 ■ 営業利益



財政状態に関する分析

●資産の状況

当連結会計年度末(2018年3月31日)の資産合計は、前連結会計年度末(2017年3月31日)比で45億57百万円増加し、709億34百万円となりました。これは、流動資産が前連結会計年度末比で45億82百万円増加したことが要因です。

なお、流動資産の増加は現金及び預金の増加などが主因です。

●負債の状況

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末比で22億71百万円増加し、307億94百万円となりました。これは、流動負債が前連結会計年度末比で15億14百万円増加したことが要因です。

なお、流動負債の増加は賞与引当金の増加などが主因です。

●純資産の状況

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末比で22億85百万円増加し、401億39百万円となりました。これは、当期の経営成績の結果による親会社株主に帰属する当期純利益の獲得に、配当金の支払及び自己株式の取得の影響が相殺されたことなどが主因です。

●キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末比44億93百万円増加の417億53百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

●営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は、前連結会計年度比7億70百万円増加の109億57百万円となりました。

得られた資金の主な内訳は、税金等調整前当期純利益などによるものです。

●投資活動によるキャッシュ・フロー

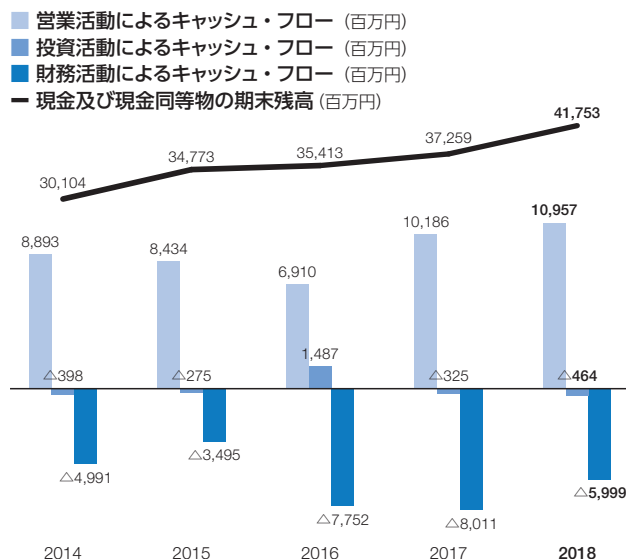
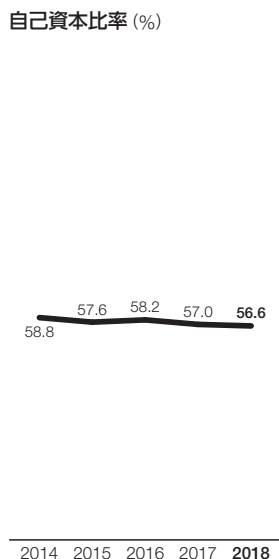
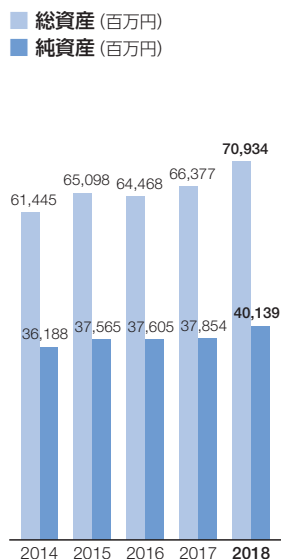
投資活動により使用した資金は、前連結会計年度比1億38百万円増加の4億64百万円となりました。

使用した資金の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出2億2百万円と無形固定資産の取得による支出1億79百万円です。

●財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用した資金は、前連結会計年度比20億12百万円減少の59億99百万円となりました。

使用した資金の主な内訳は、自己株式の取得による支出15億5百万円と配当金の支払額44億93百万円です。



連結貸借対照表

株式会社メイテックおよび連結子会社
3月31日に終了した各事業年度

(単位：千円)

資産の部	2017	2018
流動資産		
現金及び預金	37,259,635	41,753,458
受取手形及び売掛金	13,400,482	13,816,467
仕掛品	175,411	180,238
繰延税金資産	2,553,343	2,851,960
その他	1,353,825	723,303
流動資産合計	54,742,698	59,325,427
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,842,626	3,690,765
工具、器具及び備品(純額)	198,654	221,245
土地	1,487,374	1,487,374
その他(純額)	24,150	—
有形固定資産合計	5,552,805	5,399,385
無形固定資産		
ソフトウェア	363,700	917,585
その他	762,309	12,054
無形固定資産合計	1,126,010	929,639
投資その他の資産		
投資有価証券	70,583	47,721
繰延税金資産	4,236,315	4,479,371
その他	675,103	767,635
貸倒引当金	△26,297	△14,911
投資その他の資産合計	4,955,705	5,279,816
固定資産合計	11,634,521	11,608,841
資産合計	66,377,219	70,934,269

財務諸表の詳細並びに独立監査人の監査報告書などについては、有価証券報告書をご覧ください。

<http://www.meitec.co.jp/ir/document/securities.html>

(単位：千円)

負債の部	2017	2018
流動負債		
未払費用	3,032,949	3,327,971
未払法人税等	2,335,880	2,255,797
未払消費税等	1,231,268	1,421,523
役員賞与引当金	206,410	215,316
賞与引当金	6,608,299	7,456,248
関係会社整理損失引当金	34,078	4,812
その他	1,213,624	1,495,154
流動負債合計	14,662,511	16,176,824
固定負債		
退職給付に係る負債	13,860,588	14,617,901
固定負債合計	13,860,588	14,617,901
負債合計	28,523,099	30,794,726
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000,000	5,000,000
資本剰余金	11,955,724	11,955,724
利益剰余金	28,236,076	31,873,438
自己株式	△5,220,876	△6,750,331
株主資本合計	39,970,924	42,078,831
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△662,440	△662,440
為替換算調整勘定	9,315	9,155
退職給付に係る調整累計額	△1,466,541	△1,288,885
その他の包括利益累計額合計	△2,119,667	△1,942,170
非支配株主持分	2,863	2,882
純資産合計	37,854,120	40,139,543
負債純資産合計	66,377,219	70,934,269

連結損益計算書

株式会社メイテックおよび連結子会社
3月31日に終了した各事業年度

(単位：千円)

	2017	2018
売上高	89,979,069	93,618,603
売上原価	66,417,317	69,250,512
売上総利益	23,561,751	24,368,090
販売費及び一般管理費	12,418,942	12,910,049
営業利益	11,142,808	11,458,040
営業外収益		
受取利息	2,370	1,728
受取配当金	225	225
未払配当金除斥益	4,510	3,166
投資事業組合運用益	50	2,520
受取賃貸料	3,990	3,984
固定資産売却益	462	1,983
その他	8,840	5,739
営業外収益合計	20,449	19,347
営業外費用		
コミットメントフィー	2,904	2,541
支払手数料	11,317	4,032
貸倒引当金繰入額	1,521	2,600
貸倒損失	250	1,848
その他	1,810	441
営業外費用合計	17,804	11,464
経常利益	11,145,453	11,465,924
特別利益		
固定資産売却益	4	—
関係会社株式売却益	28,598	—
移転補償金	—	300,000
資産除去債務戻入益	—	37,380
その他	2,733	92
特別利益合計	31,337	337,472
特別損失		
固定資産除却損	9,424	6,173
減損損失	2,085	—
関係会社整理損失引当金繰入額	34,078	—
本社移転費用	—	245,815
その他	96	10,062
特別損失合計	45,686	262,050
税金等調整前当期純利益	11,131,104	11,541,345
法人税、住民税及び事業税	3,534,830	4,028,974
法人税等調整額	△346,948	△619,637
法人税等合計	3,187,882	3,409,337
当期純利益	7,943,222	8,132,008
非支配株主に帰属する当期純利益	5,726	—
親会社株主に帰属する当期純利益	7,937,496	8,132,008

連結包括利益計算書

株式会社メイテックおよび連結子会社
3月31日に終了した各事業年度

(単位：千円)

	2017	2018
当期純利益	7,943,222	8,132,008
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△4,626	△141
退職給付に係る調整額	309,519	177,656
その他の包括利益合計	304,893	177,515
包括利益	8,248,115	8,309,523
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	8,247,497	8,309,505
非支配株主に係る包括利益	618	18

連結株主資本等変動計算書

株式会社メイテックおよび連結子会社
3月31日に終了した各事業年度

2017

	(単位：千円)					
	資本金	資本剰余金	株主資本 利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	16,825,881	4,491,970	24,645,186	△5,989,693	39,973,345	
当期変動額						
剰余金の配当			△4,346,606		△4,346,606	
親会社株主に帰属する当期純利益			7,937,496		7,937,496	
資本金から剰余金への振替	△11,825,881	11,825,881			—	
自己株式の取得				△3,602,812	△3,602,812	
自己株式の消却		△4,371,630		4,371,630	—	
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		9,501			9,501	
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						
当期変動額合計	△11,825,881	7,463,753	3,590,889	768,817	△2,421	
当期末残高	5,000,000	11,955,724	28,236,076	△5,220,876	39,970,924	
	その他の包括利益累計額					
	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	△662,440	8,833	△1,776,060	△2,429,668	61,747	37,605,424
当期変動額						
剰余金の配当						△4,346,606
親会社株主に帰属する当期純利益						7,937,496
資本金から剰余金への振替						—
自己株式の取得						△3,602,812
自己株式の消却						—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						9,501
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	—	481	309,519	310,000	△58,883	251,117
当期変動額合計	—	481	309,519	310,000	△58,883	248,695
当期末残高	△662,440	9,315	△1,466,541	△2,119,667	2,863	37,854,120

2018

	(単位：千円)					
	資本金	資本剰余金	株主資本 利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	5,000,000	11,955,724	28,236,076	△5,220,876	39,970,924	
当期変動額						
剰余金の配当			△4,494,646		△4,494,646	
親会社株主に帰属する当期純利益			8,132,008		8,132,008	
自己株式の取得				△1,529,455	△1,529,455	
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						
当期変動額合計	—	—	3,637,362	△1,529,455	2,107,907	
当期末残高	5,000,000	11,955,724	31,873,438	△6,750,331	42,078,831	
	その他の包括利益累計額					
	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	△662,440	9,315	△1,466,541	△2,119,667	2,863	37,854,120
当期変動額						
剰余金の配当						△4,494,646
親会社株主に帰属する当期純利益						8,132,008
自己株式の取得						△1,529,455
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	—	△159	177,656	177,496	18	177,515
当期変動額合計	—	△159	177,656	177,496	18	2,285,422
当期末残高	△662,440	9,155	△1,288,885	△1,942,170	2,882	40,139,543

連結キャッシュ・フロー計算書

株式会社メイテックおよび連結子会社
3月31日に終了した各事業年度

(単位：千円)

	2017	2018
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	11,131,104	11,541,345
減価償却費	461,465	591,274
減損損失	2,085	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△477	705
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	37,944	8,905
賞与引当金の増減額 (△は減少)	175,161	845,781
関係会社整理損失引当金の増減額 (△は減少)	34,078	△29,266
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,140,295	1,012,878
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	1,353	—
受取利息及び受取配当金	△2,595	△1,953
関係会社株式売却損益 (△は益)	△28,598	—
固定資産売却損益 (△は益)	92	△1,981
固定資産除却損	9,424	6,173
移転補償金	—	△300,000
資産除去債務戻入益	—	△37,380
本社移転費用	—	245,815
売上債権の増減額 (△は増加)	72,151	△415,984
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,422	△4,826
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△205,823	661,132
仕入債務の増減額 (△は減少)	△159,303	—
未払費用の増減額 (△は減少)	59,364	227,359
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△178,622	190,287
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	78,266	331,699
その他	△19,010	78,694
小計	12,601,936	14,950,660
利息及び配当金の受取額	3,025	1,977
法人税等の支払額	△3,220,435	△4,236,557
法人税等の還付額	802,368	42,657
移転補償金の受取額	—	300,000
本社移転費用の支払額	—	△101,516
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,186,894	10,957,221
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△122,156	△202,041
有形固定資産の売却による収入	10	2,074
無形固定資産の取得による支出	△540,755	△179,996
固定資産の除却による支出	△2,457	△663
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△48,729	△98,822
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	385,962	—
その他	2,717	15,383
投資活動によるキャッシュ・フロー	△325,408	△464,065
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△3,614,094	△1,505,833
配当金の支払額	△4,343,210	△4,493,418
その他	△54,207	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,011,512	△5,999,252
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,318	△81
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,845,654	4,493,822
現金及び現金同等物の期首残高	35,413,980	37,259,635
現金及び現金同等物の期末残高	37,259,635	41,753,458

会社概要

(2018年4月1日現在)

社名

株式会社メイテック

資本金

50億円

設立

1974年7月17日

本社所在地

〒110-0005 東京都台東区上野1-1-10
オリックス上野1丁目ビル
Tel (03) 6778-5100 (代)

本店所在地

〒451-0075 名古屋市西区康生通2-20-1
Tel (052) 532-1811 (代)

社員数(連結) (2018年3月末時点)

9,840名

連結子会社

エンジニアリングソリューション事業

株式会社メイテックフィルダーズ
株式会社メイテックキャスト
株式会社メイテックEX
株式会社メイテックビジネスサービス

エンジニア紹介事業

株式会社メイテックネクスト
明達科(上海) 科技有限公司
明達科(上海) 人才服务有限公司

株式情報

(2018年3月31日現在)

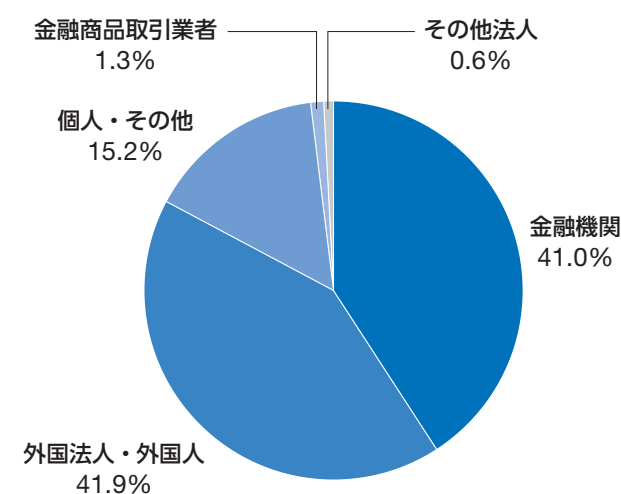
株式の状況

発行可能株式総数： 142,854,400株
発行済み株式総数： 30,000,000株
株主数(自己名義株式を含む)： 4,885名
証券コード： 9744
上場証券取引所： 東京証券取引所 第1部
株主名簿管理人： 三菱UFJ信託銀行株式会社

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,429,500	8.62
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,182,300	7.74
明治安田生命保険相互会社	1,565,588	5.55
日本生命保険相互会社	1,113,958	3.95
メイテック社員持株会	883,232	3.13
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	744,212	2.64
JP MORGAN CHASE BANK 385632	709,601	2.52
MSCO CUSTOMER SECURITIES	587,362	2.08
CREDIT SUISSE SECURITIES(USA)LLC SPCL. FOR EXCL. BEN	544,300	1.93
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	509,600	1.81
上位10名計	11,269,653	39.98

所有者別株主分布状況



人と技術で次代を拓く

MEITEC

Engineering Firm at The Core

IRに関するお問い合わせ

株式会社メイテック 経営管理部

Tel: 03-6778-5023 Mail: ir@meitec.com

